

東北地方 1 か月予報

(4 月 2 3 日から 5 月 2 2 日までの天候見通し)

平成 1 7 年 4 月 2 2 日

仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

1 週目は、気温がかなり低い日もあり、おそ霜の恐れがありますので農作物の管理に注意して下さい。

<予想される向こう 1 か月の天候>

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。




この期間、天気は数日の周期で変化し、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。期間の前半を中心におそ霜の降りる恐れがあるでしょう。

向こう 1 か月の平均気温は平年並か低い、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1 週目、2 週目は平年並か低い、3 ~ 4 週目は平年並でしょう。




<向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



 低い (少ない)  平年並  高い (多い)

<気温経過の各階級の確率 (%) >



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1 か月 : 4 月 2 3 日 (土) ~ 5 月 2 2 日 (日)

1 週目 : 4 月 2 3 日 (土) ~ 4 月 2 9 日 (金)

2 週目 : 4 月 3 0 日 (土) ~ 5 月 6 日 (金)

3 ~ 4 週目 : 5 月 7 日 (土) ~ 5 月 2 0 日 (金)

<次回発表予定等>

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 4 月 2 9 日

3 か月予報 : 4 月 2 5 日 (月) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	12.5	154.0	186.2	10.9	11.9	13.4
新庄	12.8	108.1	169.5	10.9	12.0	13.8
若松	14.2	77.1	188.4	12.4	13.5	15.1
深浦	11.8	106.5	183.4	10.1	11.1	12.7
青森	11.9	76.2	199.1	10.0	11.2	12.9
むつ	10.9	93.5	199.0	9.1	10.2	11.9
八戸	11.9	81.8	199.9	10.3	11.3	12.9
秋田	12.9	126.2	178.1	11.2	12.3	13.8
盛岡	12.5	105.7	186.9	10.7	11.8	13.5
宮古	12.1	103.1	186.7	10.6	11.5	12.9
酒田	13.6	120.0	185.9	11.9	12.9	14.5
山形	14.2	81.8	191.9	12.3	13.5	15.1
仙台	13.8	112.4	191.1	12.1	13.1	14.6
石巻	12.8	103.5	196.4	11.2	12.2	13.7
福島	15.4	88.7	189.9	13.6	14.7	16.3
白河	13.7	116.5	182.3	12.1	13.1	14.5
小名浜	14.2	150.2	191.1	12.9	13.7	14.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5～+0.5	82～ 116	97～ 105
東北日本海側	-0.5～+0.6	85～ 117	96～ 105
東北太平洋側	-0.4～+0.5	75～ 116	97～ 105

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.7～+0.7	-0.7～+1.0	-0.3～+0.6
東北日本海側	-0.7～+0.7	-0.7～+1.0	-0.4～+0.6
東北太平洋側	-0.6～+0.7	-0.6～+0.8	-0.3～+0.6

< 参考資料（利用上の注意） >

- （１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間にける各階級の出現率が等分（それぞれ 33%）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10%以下や 60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30%、40%）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 17 年 4 月 22 日 仙台管区气象台

1．出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月（4 月 23 日～5 月 22 日）：

この期間、天気は数日の周期で変化し、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。期間の前半を中心におそ霜の降りる恐れがあるでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

1 週目（4 月 23 日～4 月 29 日）：

東北部では、期間のはじめは晴れる日もありますが、期間の中頃からは気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。東北南部は、期間の中頃は気圧の谷の影響で曇りや雨となりますが期間のはじめと終わりは高気圧に覆われて晴れる見込みです。期間のはじめは平年よりかなり低い日がありますので、農作物の管理に注意してください。

平均気温は平年並か低いでしょう。

2 週目（4 月 30 日～5 月 6 日）：

天気は数日の周期で変化し、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並か低いでしょう。

3～4 週目（5 月 7 日～5 月 20 日）：

天気は数日の周期で変化し、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

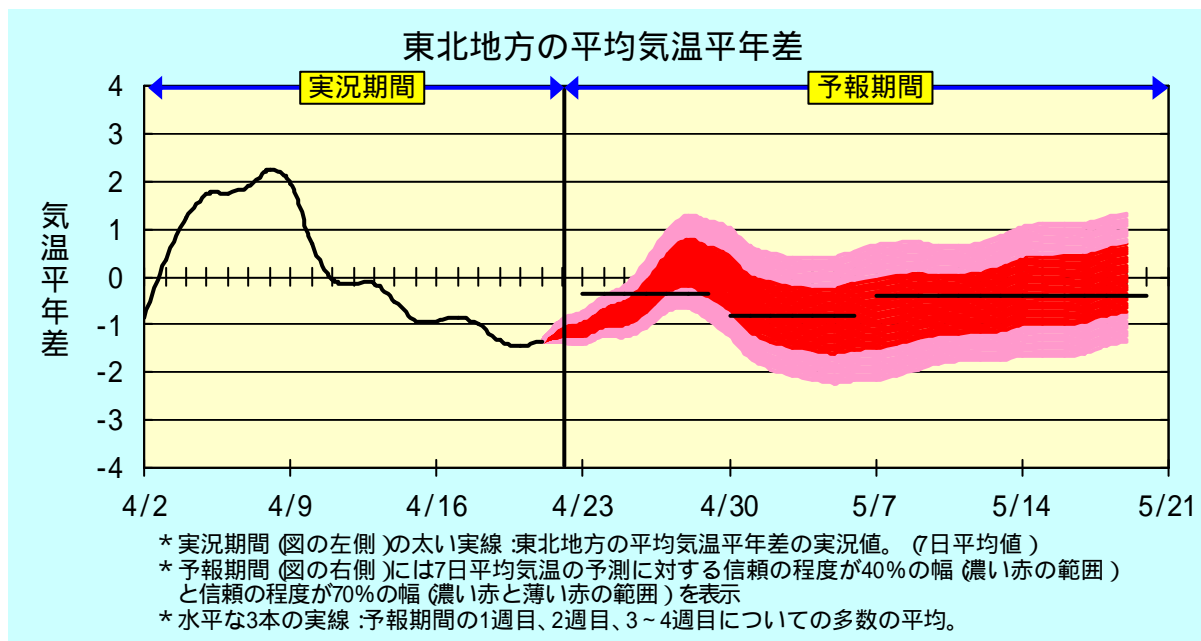
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	15.7 日	4.1 日	3.6 日	8.0 日
東北太平洋側	16.1 日	4.3 日	3.8 日	8.0 日

2．東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目は「平年並」、2 週目、3～4 週目共に「低い」と予測している。予報は、その他の資料から 1 週目、2 週目を「平年並か低い」とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

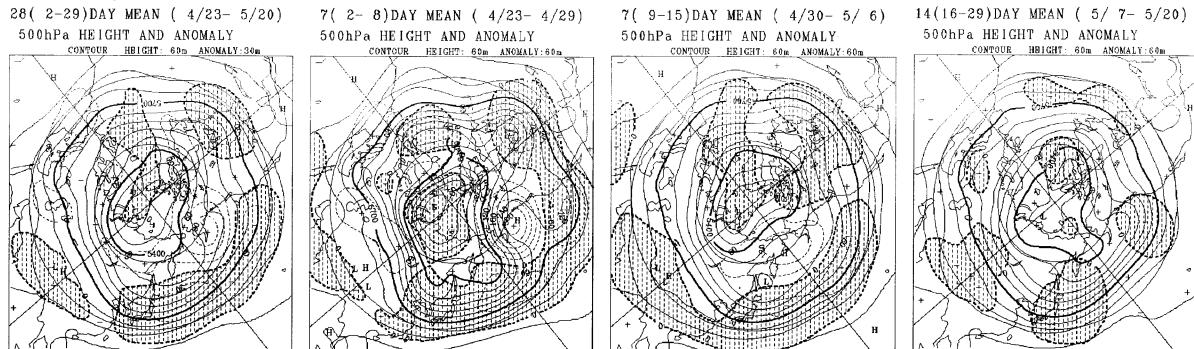


3．数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近から太平洋まで負偏差となるが、高緯度のアラスカからバイカル湖にかけては明瞭な正偏差で寒気の南下が予想される。

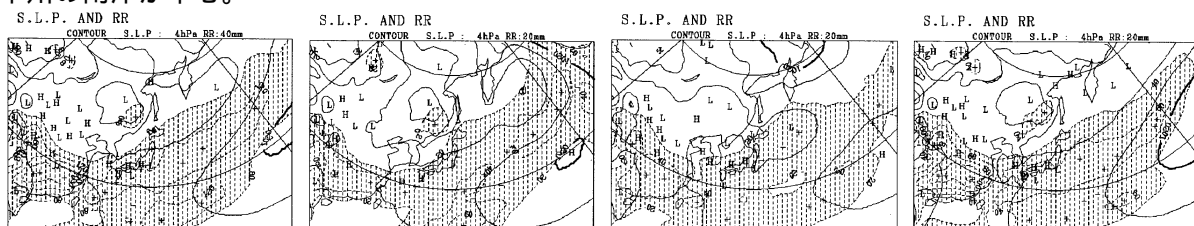
1 週目は、日本付近は日付変更線付近に中心を持つ負偏差に覆われ、アラスカ付近の正偏差が顕著。極域は負偏差。2 週目は、月平均と同様。3～4 週目はチベットや日本付近は負偏差に覆われるが、高緯度は正偏差となる。日本付近の偏西風の流れは順調で、天気は数日の周期で変化する見込み。



地上気圧と降水量：

月平均では、日本の南に高気圧が張り出すが平年より弱く、南偏傾向。日本付近の降水域は南西諸島が中心。

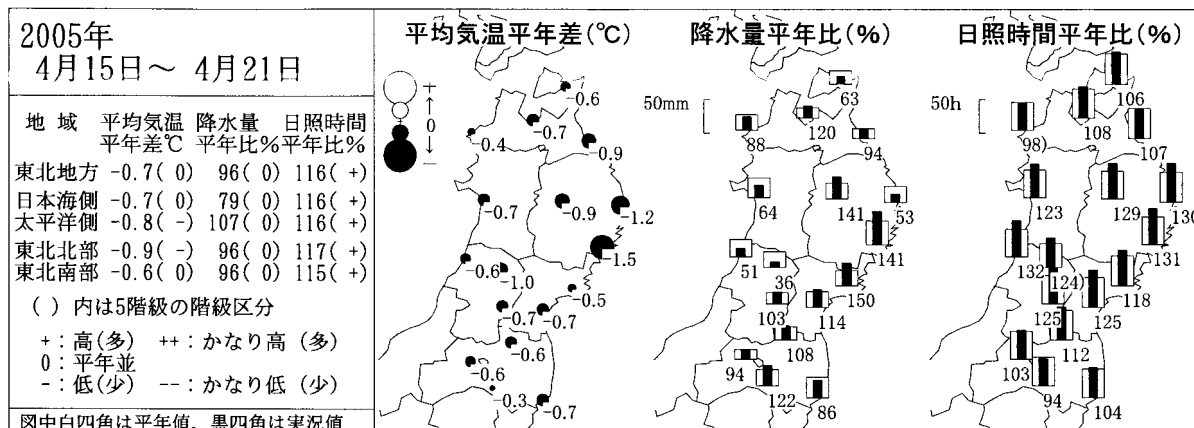
1 週目は、南偏した高気圧が東北地方にかかる。日本付近の降水域は弱い。2 週目は、日本の南に高気圧が張り出すが平年より弱く、南偏傾向で北日本は低圧部となる。3～4 週目は、2 週目に比べて日本の南に張り出す高気圧の勢力が強まるが、平年並程度。降水域の中心は南西諸島から本州の南岸が中心。



4．最近 1 週間（4 月 15 日～4 月 21 日）の天候の経過

この期間、15日と17日は東北地方を前線が通過し、東北部で雨となるところがあった。また、20～21日は前線を伴った低気圧が北日本を通過したため、雨となった。その他の日は、高気圧に覆われ概ね晴れた。

平均気温は東北部で低く、東西南部で平年並。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北地方で多い。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）